

東部ネットワーク株式会社に対する 「GHG見える化インパクトファイナンス」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、東部ネットワーク株式会社（代表取締役社長：若山 良孝、以下「東部ネットワーク」）に対して、「GHG見える化インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）を実行しました。

本商品は、GHG排出量の可視化・削減プラットフォーム「e-dash」を提供するe-dash株式会社（代表取締役：山崎 冬馬、以下「e-dash」）とともに、中堅・中小企業のお客さまに対し脱炭素への取り組みの第1歩から伴走支援する商品です。本商品の特徴は、①「e-dash」を活用した簡便で正確な排出量の見える化と削減目標の設定、②融資期間中のモニタリングを通じた削減目標達成の方策検討により、お客さまをサポートすることです。みずほ銀行は、本商品の提供を通じて、中堅・中小企業のお客さまの脱炭素化、およびそれに向けた事業の強化・転換を支援し、日本のカーボンニュートラル達成に貢献していきます。また、お客さまとともにインパクトと収益の創出による好循環を実現し、社会・環境課題の解決と企業価値向上をめざします。

なお、本商品のフレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に適合する旨の第三者意見書を取得しています。（※2）

東部ネットワークは、運送業を展開する中で、環境負荷の低減と持続可能な物流の実現に向けた取り組みを進めています。2021年には伊藤忠商事株式会社および伊藤忠エネクス株式会社と協働し、海老名営業所に商用トラック向けリニューアブルディーゼルの給油拠点を設置し、車両への一部導入を開始しています。さらに、海老名、滋賀、北陸の主要物流センターに太陽光発電設備を設置して再生可能エネルギーの活用を進めるほか、飲料物流における拠点間輸送の効率化や空車走行の削減にも取り組み、事業活動と環境負荷低減の両立をめざしています。

〈みずほ〉は、ありたき将来の日本の産業構造“グランドデザイン”を描き、その実現に向けてお客さまの脱炭素化・トランジションを積極的に支援しています。〈みずほ〉の強みである「産業・業界知見」や「つなぐ力」を活かしたグループ体でのソリューションの提供を通じて、お客さまとともに挑戦します。

＜案件の概要＞

融 資 先：東部ネットワーク
貸 付 人：みずほ銀行
実 行 金 額：5億円
実 行 日：2026年10月1日
期 間：7年

※1：「GHG見える化インパクトファイナンス」の商品概要にかかるウェブサイト
<https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/sustainability/ghg/index.html>

※2：JCRのウェブサイト
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

【e-dashについて】

会 社 名	e-dash 株式会社
代 表 者	代表取締役 山崎 冬馬
所 在 地	〒107－0052 東京都港区赤坂四丁目 8 番 18 赤坂 JEBL6 階
設 立	2022 年 2 月 7 日
事 業 内 容	CO ₂ 排出量可視化・削減サービスプラットフォーム「e-dash」の開発・運営 サプライチェーンの ESG データ収集・分析・実行支援「e-dash Survey」の運営 カーボンフットプリント算定サービス「e-dash CFP」の開発・運営 カーボンクレジットのマーケットプレイス「e-dash Carbon Offset」の運営
U R L	https://e-dash.io/

以 上